

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 サンフレンズ	代表者	理事長 土屋俊彦	法人・ 事業所 の特徴	包括的なサービスでの支援により、ご利用者の困り事や状況の変化に気付きやすい。 また、その場に応じた柔軟な対応が可能である事により利用者さんの安心感に繋がっている。
事業所名	おあしす上井草	管理者	所長 菱木 幸治		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	人	1人	人	2人	人	5人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所自己評価の細かい部分において、職員間で共通した認識や解釈がされておらず、正確な評価が行えていないことが分かった。評価の質を高めるため、解釈が難しいまたは分かりづらい項目に独自に解説を付けるなどして誰もが評価しやすい環境を整える。	二回目の評価記入であったため、前回の評価を踏まえて、職員個々に共通した認識や解釈となるように個々にレクチャーをするようにした。	事業所職員が前回の改善計画に対して具体的な取り組みを行っていることは評価表の記入内容を見て確認ができた。	事業所の改善計画を職員が常に確認できる場所に掲示して、職員間で共有して達成できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ感染症対策は継続していくが、同時に利用者の生活が居心地の良い環境でゆっくり過ごしていただく環境を提供していく。	感染症対策委員会において、議題に挙げて、決定した事項について職員間で共有して環境整備に努めた。	事業所のしつらえ・環境は利用者が居心地の良い環境であることは目視で確認ができた。	おあしすのフロアは広いので、意図的に空間を区切ることによって、利用目的別に快適に過ごせるような空間を作りだせないか試してみる。
C. 事業所と地域のかかわり	今までは一部の職員のみが地域とのかかわりを行ってきたが現場の職員がシフト調整の段階で配慮をしていく。	上井草自治会長よりお声がけ頂き、地域のお祭りや行事に利用者と一緒に参加した。また、毎年恒例の上井草結いの会主催の芋ほり行事のさつま芋の寄付を頂き、おやつで活用させて頂いた。シフト調整が必要な場合は勤務表作成時に考慮した。	忙しいとは思いますが、引き続き利用者が地域に出ていくことができる環境を作って頂ければと思います。	おあしすの職員が満遍なく地域とのかかわりを利用者と一緒に行えるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域包括支援センター、地域自治会、二層協議体等、地域とのつながりをより密にし、具体的な協力依頼内容を提示して連携を深めていく。	8月に上井草自治会が主催して「みんなで灯ろうまつり」にご利用者と一緒に参加した。	利用者も地域住民なので、機会があるごとに外出する機会をつくらせていってください。	地域行事や自主団体のイベントへの参加、散歩など地域に出向く機会を増やす。

E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議では参加する方々から各関係機関に関する報告をいただき、上井草周辺の地域情報の交換や交流の場所にしていきたい。 ・事業所ご利用者の事例を報告し、具体的な活動や対応内容を知っていただけるようにする。 ・課題が挙がった時は、対応策と一緒に考えて意見をいただき早急に取り組む。	運営推進会議にて、毎回、おあしすの運営をする上での課題を共有し、ご意見を賜る機会を得た。特に事故報告・ひやりはっтоに對しての対応策については多くの知見を得て、改善策につなげることができた。	介護事故については、未然に防ぐための仕組み作りが大切です。引き続き、事故防止に向けての取り組みをお願いします。	事業所内の課題や改善点を共有し、具体的な対策を検討。サービスの質の向上を目指していく。
F. 事業所の防災・災害対策	BCP（事業継続計画）に基づく防災訓練や地域住民との合同防災訓練に現場の職員が参加できるようにシフト上で配慮をしている。	11 月に地域住民との合同防災訓練に職員が参加することができた。	大規模災害発生時に地域で協働して災害対応をできるように引き続き連携を深めていってください。	BCP（事業継続計画）に基づく防災訓練や地域住民との合同防災訓練に現場の職員が参加できるようにシフト上で配慮をしている。